

## 参 考 资 料 ②

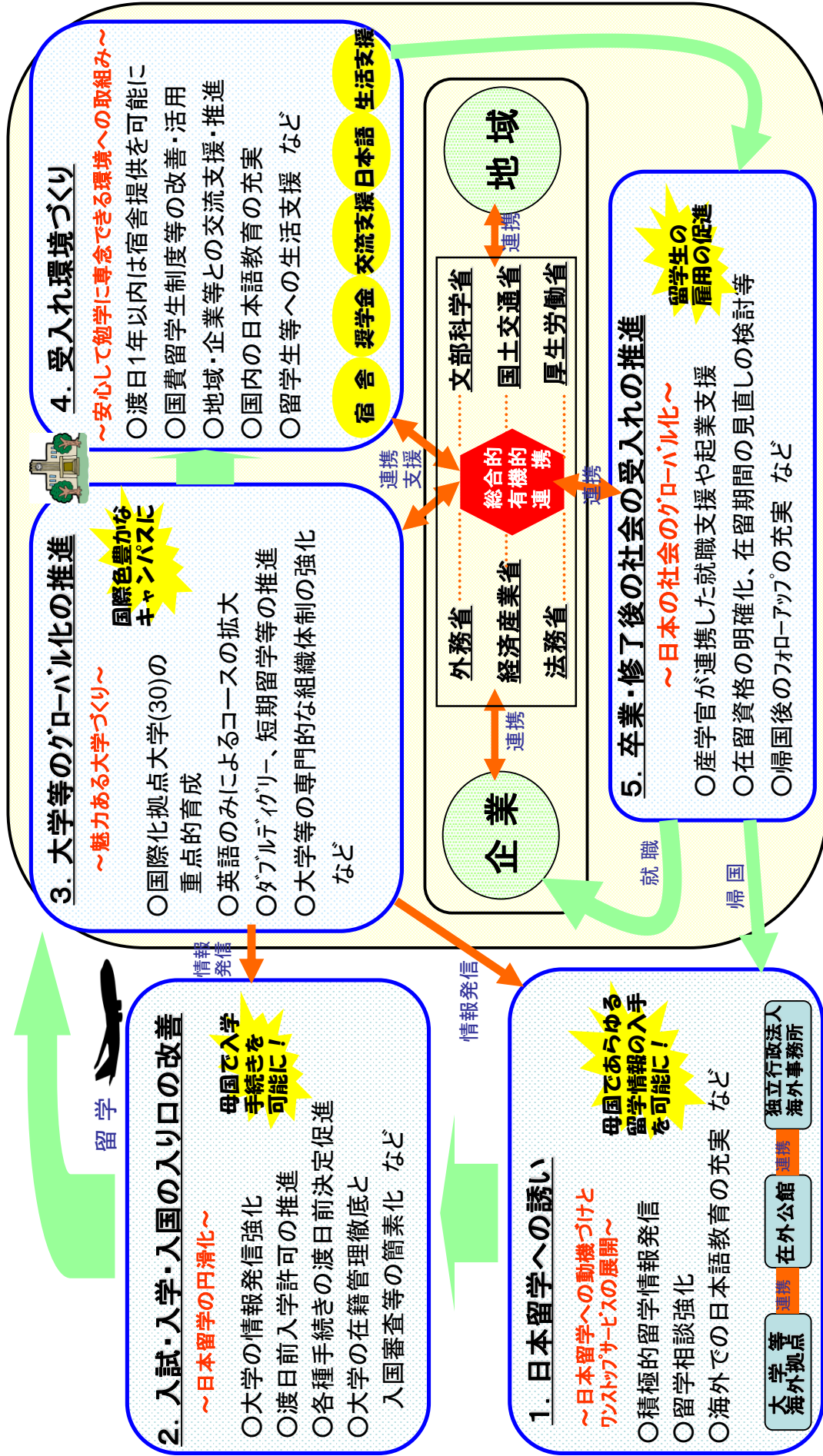
## 参 考 資 料 ② 目 次

- ・「留学生30面人計画」骨子の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略（概要）・ 2
- ・学校種別・外国人留学生在籍者推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・重点地域別留学生数推移（各年5月1日現在）・・・・・・・・・・・・ 4
- ・出身地域別・留学期間別 外国人留学生数・・・・・・・・・・・・・・ 5
- ・各国における海外留学の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- ・ブロック別留学生受入れ大学数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ・外国人留学生の日本留学の理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- ・主な国の授業料・滞在費の目安（4年生大学・学部）・・・・・・・・・・ 9
- ・外国語教育の実施状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- ・スーパーグローバル大学事業における英語のみで卒業できるコース  
の設置数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
- ・外国人留学生の就職の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
- ・外国人留学生の就職に関する課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
- ・各地域の帰国留学生会数及び会員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

# 「留学生30万人計画」骨子の概要

- ☆ 「グローバル戦略」展開の一環として**2020年**を目途に留学生受入れ**30万人**を目指す。
- ☆ 大学等の教育研究の国際競争力を高め、優れた留学生を戦略的に獲得。
- ☆ 関係省庁・機関等が総合的・有機的に連携して計画を推進

ポイント



# 世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略（概要）

## 基本的な考え方

平成25年12月18日 戦略的な留学生交流の推進に関する検討会

- 世界的な留学生獲得競争が激化する中、教育研究の向上や国家間の友好関係の強化に継続して取り組むことに加え、**諸外国の成長を我が国に取り込み、我が国の更なる発展を図るため、重点地域の設定等の外国人留学生受入れに係る戦略を策定することが必要。**
- そのため、これまでの諸外国・地域の人材育成やパートナーシップ構築等の継続的な取組に加え、我が国の大学等への留学を奨励・促進させるために、重点を置くべき分野や地域及び具体的な対応方針を本戦略において策定。
- 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催を契機に、スポーツや文化等、我が国の魅力の積極的な海外発信に果たす外国人留学生の役割も重要。

## 戦略の在り方

### 外国人留学生受入れ施策の成果が十分に期待できる重点分野

	医療	農学
工学	医療人材の育成による諸外国の医療水準の向上への貢献、ODA等により我が国が設立した病院等医療施設の継続的な運営に寄与。	
社会科学 (法制度)		食料の増産、バイオマスの利用による資源エネルギーの開発等に貢献することにより、現地生活の安定、我が国の食料安全保障に寄与。

### 我が国の発展に特に寄与すると考えられる重点地域及び今後の対応方針

重点地域	対応方針
東南アジア (ASEAN)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ASEANは我が国との人的交流が最も活発な地域であるとともに、将来的にも、日系企業の進出も盛んになる地域であることから、各国の状況を考慮しつつ、教育の質を確保する仕組みを構築し、量的な拡大を図る。</li> </ul>
ロシア及び CIS 諸国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国への留学の魅力や我が国の大学等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。</li> <li>・地域の広大さに鑑み、モスクワだけでなく、我が国から地理的に近く、親日派・知日派の多い地域であるウラジオストクを中心とした極東地域からの留学生の受入れについても促進する。</li> </ul>
アフリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アフリカは、サブサハラを中心に、今後大きな成長が期待できる一方、治安や病気等の不安が大きい地域である。今後、アフリカからの留学生を増やすに当たっては、アフリカ各国との関係で得られる成果を念頭に置きつつ、良好事例を創出し、我が国の大学等に情報を周知することで、留学生の受入れを促進する。</li> </ul>
中東	<ul style="list-style-type: none"> <li>・我が国への留学の魅力や我が国の大学等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。</li> <li>・中東各国が用意する政府派遣奨学金を積極的に利用できるように必要な環境整備を図る。</li> </ul>
南西アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の進出拠点多く形成されるインドを中心として、在外公館や我が国の関係機関と連携し、我が国への留学の魅力や我が国の大学等の優れた点について集中的に広報し、留学生の受入れを促進する。</li> </ul>
東アジア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東アジアの中でも、我が国との関係が強く親日国であり、資源確保の観点からも関係を強化することが重要なモンゴルを中心として、留学生の受入れを促進する。</li> </ul>
南米	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南米は、我が国の高い技術に対する関心が高く、我が国にとっても、資源の確保と質の高い人材の受入れが重要であることから、主に工学及び農学分野の留学生の受入れを促進する。</li> </ul>
米国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学事層の柔軟化や大学間交流協定の締結促進により、短期の留学生の受入れを中心に、受入数を増加させる。</li> </ul>
中東欧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府間の声明を踏まえた人的交流の強化を図る。</li> </ul>

## 具体的方策

- 留学コーディネーターの配置などによる戦略的な外国人留学生の受入れ
- 外国語で単位や学位が取得できる環境の整備促進
- 地域と連携した外国人留学生の生活支援
- 我が国で学修した外国人留学生への対応



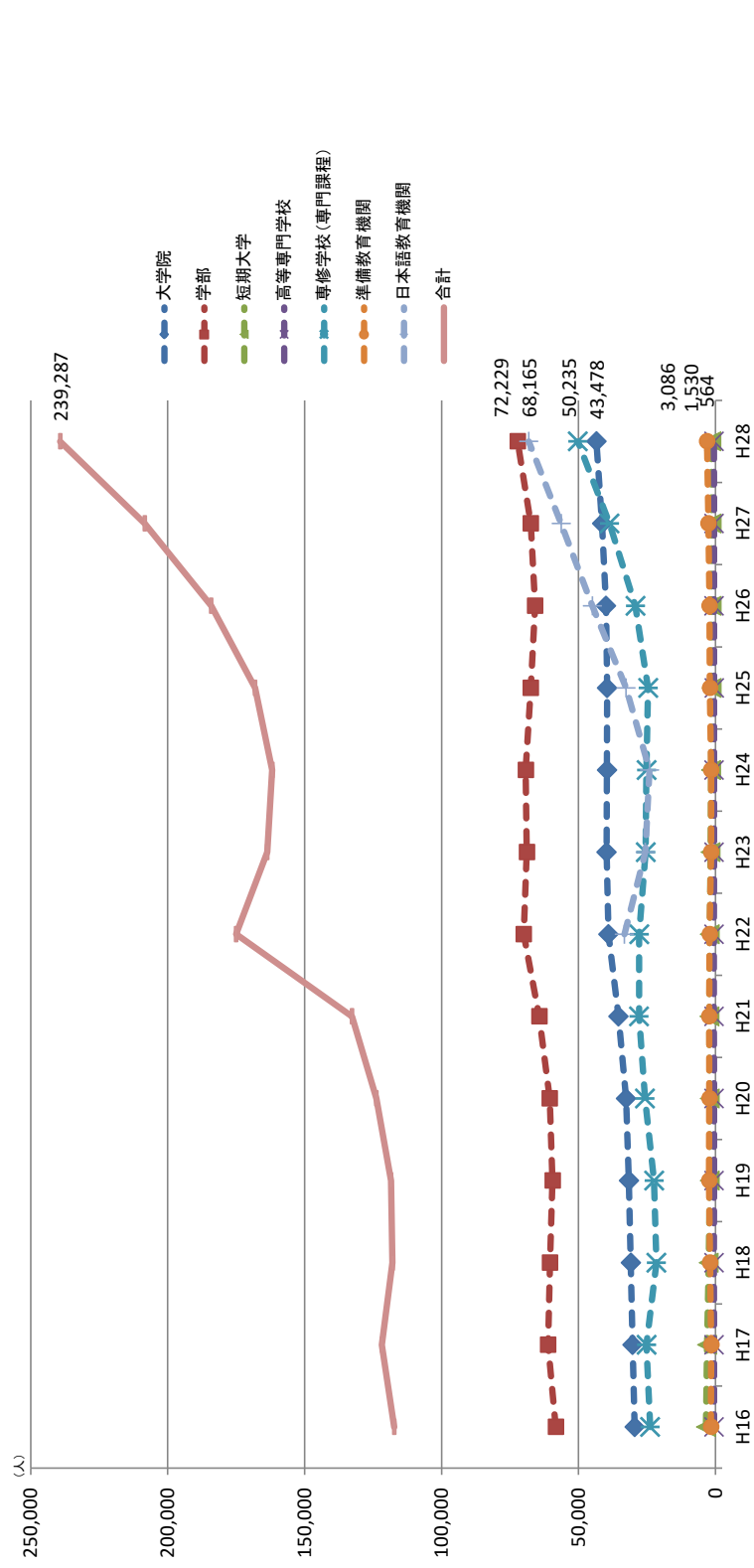
「留学生30万人計画」の実現を図るため、従来のODA的な考え方から脱却し、我が国の更なる発展を目的とした戦略による「攻め」の留学生受入れに取り組む。

世界の成長を取り込むための外国人留学生の受入れ戦略（報告書） [http://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/ryugaku/1342726.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/1342726.htm)

### 学校種別・外国人留学生在籍者数推移

(各年5月1日)

	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
大学院	29,514	30,278	30,910	31,592	32,666	35,405	39,097	39,749	39,641	39,567	39,979	41,396	43,478
学部	58,324	61,152	60,420	59,510	60,520	64,327	70,021	68,901	69,274	67,437	65,865	67,472	72,229
短期大学	3,481	3,091	2,474	2,110	2,117	2,224	2,093	1,827	1,603	1,438	1,433	1,414	1,530
高等専門学校	506	531	543	539	538	557	551	516	484	464	484	519	564
専修学校(専門課程)	23,833	25,197	21,562	22,399	25,753	27,914	27,872	25,463	25,167	24,586	29,227	38,654	50,235
準備教育機関	1,644	1,563	2,018	2,348	2,235	2,293	2,140	1,619	1,587	2,027	2,197	2,607	3,086
日本語教育機関							33,266	25,622	24,092	32,626	44,970	56,317	68,165
合計	117,302	121,812	117,927	118,498	123,829	132,720	175,040	163,697	161,848	168,145	184,155	208,379	239,287



(出典) 日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

重点地域別留学生数推移(各年5月1日現在)

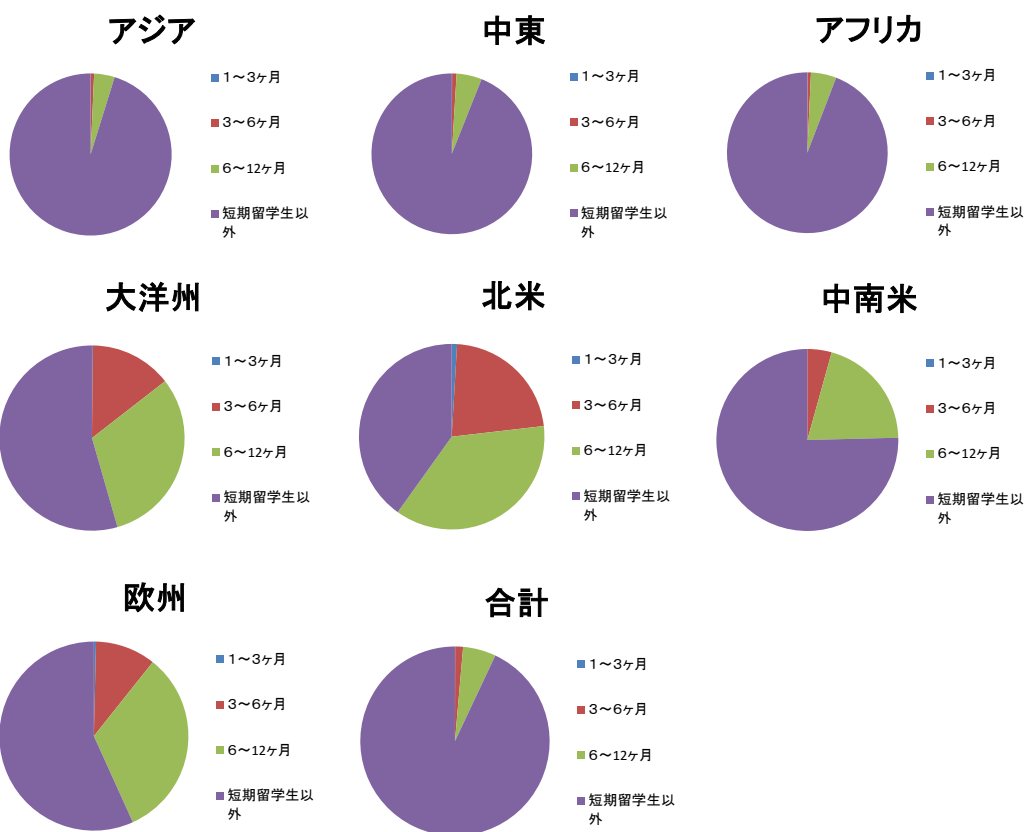
国地域	H24	H25	H26	H27	H28	
ASEAN	ミャンマー	1,151	1,193	1,280	1,652	2,079
	タイ	2,167	2,383	2,676	2,904	3,185
	マレーシア	2,319	2,293	2,361	2,460	2,581
	シンガポール	211	209	260	282	330
	インドネシア	2,276	2,410	2,705	2,995	3,670
	フィリピン	497	507	546	647	779
	ベトナム	4,373	6,290	11,174	20,131	28,579
	カンボジア	311	338	368	426	467
	ラオス	223	218	207	207	215
	ブルネイ	17	20	26	35	58
ASEAN 計	13,545	15,861	21,603	31,739	41,943	
ロシア・CIS	ロシア	333	339	404	451	505
	ウズベキスタン	203	227	274	335	383
	カザフスタン	58	65	85	87	107
	ベラルーシ	24	33	26	29	28
	キルギス	75	72	76	85	92
	アゼルバイジャン	22	17	21	15	18
	タジキスタン	27	34	34	42	39
	トルクメニスタン	19	17	13	15	14
	アルメニア	5	8	11	13	13
	モルドバ	8	6	8	7	9
ロシア・CIS 計	774	818	952	1,079	1,208	
アフリカ	エジプト	213	229	258	280	332
	スーダン	40	36	31	35	44
	リビア	11	12	13	13	11
	チュニジア	53	54	52	50	53
	アルジェリア	19	25	27	29	32
	マダガスカル	21	23	22	22	28
	ケニア	104	99	89	154	211
	タンザニア	48	43	48	84	111
	コンゴ民主共和国	19	17	22	20	16
	ナイジェリア	57	68	71	85	117
	ガーナ	45	52	54	71	102
	リベリア	4	3	7	4	3
	ガボン	6	7	6	7	12
	コンゴ共和国	3	4	1	2	7
	カメルーン	27	36	40	29	29
	ザンビア	20	18	18	21	25
	コートジボワール	12	9	13	19	27
	モロッコ	37	42	46	50	57
	セネガル	40	49	58	47	67
	エチオピア	50	53	52	75	100
	ギニア	10	9	11	20	15
	ウガンダ	71	72	70	75	65
	ジンバブエ	33	26	27	24	34
	南アフリカ	18	18	16	33	66
	モーリタニア	7	8	4	3	7
	トーゴ	1	3	2	1	1
	中央アフリカ	1	1	1	0	0
	ベナン	13	17	17	21	23
	マラウイ	20	19	20	19	34
	スワジランド	1	1	2	2	3
	エリトリア	12	10	10	8	7
	コモロ	1	1	1	1	0
	ナミビア	2	2	3	8	11
	ボツワナ	20	21	21	21	23
	マリ	9	12	8	7	8
	ニジェール	1	1	0	0	0
	モーリタニア	5	3	4	5	8
	レソト	0	0	2	1	2
	アンゴラ	5	4	3	5	7
	ガーボヴェルデ	0	1	4	4	6
	ザンベ・フリンシベ	0	0	0	1	0
	赤道ギニア	1	0	0	0	1
	ブルキナファソ	2	3	8	6	15
	セーシェル	0	0	0	0	1
	ソマリア	2	2	2	2	1
	モザンビーク	14	13	16	39	76
	ルワンダ	14	17	16	33	44
	シエラレオネ	10	10	7	6	8
	ブルンジ	0	1	1	2	3
	ジブチ	1	1	2	1	1
	チャド	2	0	0	0	0
	その他(アフリカ地域)	1	0	3	2	3
	アフリカ 計	1,106	1,155	1,209	1,447	1,857

(出典)独立行政法人日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

国地域	H24	H25	H26	H27	H28	
中東	イラン	213	208	180	189	198
	トルコ	155	156	160	180	223
	シリア	50	53	51	52	52
	レバノン	11	13	11	16	18
	イスラエル	27	29	30	36	39
	ヨルダン	28	27	25	25	27
	イラク	16	11	14	15	17
	クウェート	5	6	4	4	9
	サウジアラビア	413	472	562	551	510
	アフガニスタン	102	155	213	307	339
	パレスチナ	14	17	15	14	24
	イエメン	11	18	20	20	25
	アラブ首長国連邦	44	42	44	63	66
	バーレーン	7	8	10	9	7
	オマーン	13	14	18	23	15
	カタール	3	4	9	16	18
	中東 計	1,112	1,233	1,366	1,520	1,587
	南西アジア	パキスタン	166	184	185	198
インド		541	560	622	773	880
ネパール		2,451	3,188	5,291	8,691	13,456
バングラデシュ		1,052	875	825	1,015	1,402
スリランカ		670	794	902	1,200	1,905
ブータン		22	17	20	23	25
モルディブ		5	2	6	5	6
南西アジア 計	4,907	5,620	7,851	11,905	17,875	
東アジア	モンゴル	1,114	1,138	1,222	1,350	1,495
	東アジア 計	1,114	1,138	1,222	1,350	1,495
南米	ブラジル	272	275	437	481	463
	パラグアイ	28	26	19	24	26
	ウルグアイ	6	3	6	3	2
	アルゼンチン	53	48	56	61	63
	チリ	34	37	36	38	45
	ボリビア	26	22	28	26	26
	ペルー	78	86	93	96	98
	エクアドル	15	22	16	18	19
	コロンビア	64	60	57	66	81
	ベネズエラ	42	42	43	41	43
ガイアナ	4	3	3	2	2	
南米 計	622	624	794	856	868	
米国	アメリカ合衆国	2,133	2,083	1,975	2,223	2,428
	米国 計	2,133	2,083	1,975	2,223	2,428
中東欧	ギリシャ	22	28	32	42	30
	オーストリア	58	57	61	71	93
	スイス	65	79	89	77	93
	ポーランド	103	113	147	177	185
	チェコ	44	48	46	54	56
	ハンガリー	86	78	85	102	100
	ルーマニア	69	75	67	71	66
	ブルガリア	73	78	78	98	88
	アルバニア	12	9	5	7	10
	スロバキア	26	35	31	33	32
	ウクライナ	71	77	77	78	83
	クロアチア	18	18	22	26	28
	スロベニア	14	10	20	22	21
	マケドニア	8	8	7	6	9
	ボスニア・ヘルツェゴビナ	9	11	9	12	8
	セルビア	29	34	29	27	33
	モンテネグロ	2	1	0	1	1
	コソボ	1	3	5	3	4
キプロス	1	2	6	8	9	
中東欧 計	711	764	816	915	949	

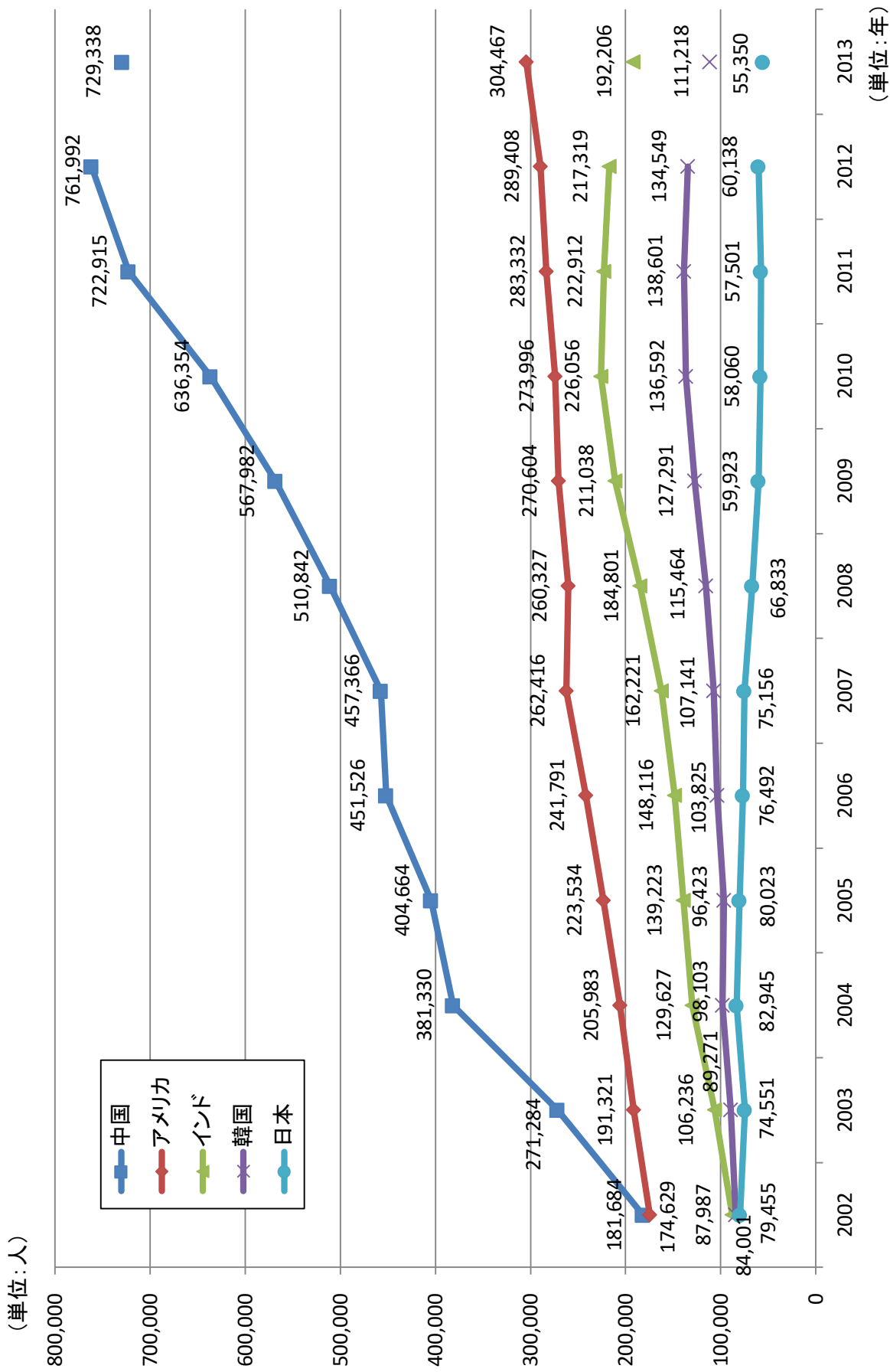
地域別・留学期間別留学生数(H28.5.1現在)

	1～3ヶ月	3～6ヶ月	6～12ヶ月	短期留学生以外	合計
アジア	44	1,513	9,118	211,952	222,627
中東	1	15	85	1,573	1,674
アフリカ	1	13	99	1,819	1,932
大洋州	1	95	206	361	663
北米	28	669	1,105	1,207	3,009
中南米	0	60	282	1,048	1,390
欧州	29	826	2,598	4,533	7,986
合計	104	3,191	13,493	222,499	239,287



(出典) 日本学生支援機構「平成28年度外国人留学生在籍状況調査」

# 各国における海外留学の状況



出典:米国は「IE「OPEN DOORS」、その他の国はOECD「Education at a Glance」



## ブロック別留学生受入れ大学数

平成28年5月1日現在

ブロック	留学生有 大学数	割合	留学生数	割合	留学生無 大学数
北海道	30	4.7%	2,704	2.3%	7
東北	36	5.7%	3,755	3.2%	14
関東(東京以外)	129	20.4%	22,843	19.7%	27
東京	120	19.0%	33,396	28.9%	14
中部	77	12.2%	9,482	8.2%	26
関西	117	18.5%	21,710	18.8%	32
中国	42	6.6%	5,973	5.2%	11
四国	14	2.2%	1,122	1.0%	2
九州	67	10.6%	14,708	12.7%	12
合計	632	100.0%	115,693	100.0%	145

(出典)日本学生支援機構「外国人留学生在籍状況調査」

## 外国人留学生の日本留学の理由

### ○留学の目的(複数回答設問)

区分	割合
学位を取得する	53.2%
就職に必要な技能や知識を身に付ける	47.3%
日本で働く、もしくは日本企業に就職する	44.3%
国際的な経験を積んで、国際的な人脈を作りたい	31.8%
国際的な考え方を身に付けたい	31.0%
教養を身に付ける	27.1%
日本語の能力を高めたい	21.8%
他文化に接する	17.3%
良い環境で研究を行う	9.6%
その他	0.8%

### ○日本を留学先として選んだ理由(複数回答設問)

区分	割合
日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	59.5%
日本語・日本文化を勉強したかったため	47.3%
日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため	35.8%
日本と関連のある職業に就きたかったため	25.0%
異文化に接したかったため	23.1%
興味ある専門分野があったため	22.1%
友人、知人、家族等に勧められたため	19.6%
地理的に近いため	19.6%
他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	15.0%
大学間交流等をきっかけとして	5.8%
奨学金を得られたため	4.3%
その他	1.4%

(出典)日本学生支援機構「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」

## 主な国の授業料・滞在費の目安(4年制大学・学部)

	米国 (公立4年制大学)	米国 (私立4年制大学)	中国	英国	豪州	(参考)日本
授業料 (一学年)	平均: \$24,930 (日本円 280万円)	平均: \$33,480 (日本円 376万円)	平均: 27,000元 (日本円 45万円)	平均: £9,000 (日本円 131万円)	平均: A\$24,000 (日本円 207万円)	平均: 871,000円
滞在費 (年間)	教科書、文房具代 \$1,250 部屋代、食費 \$10,440 交通費 \$1,160 雑費 \$2,110 計 \$14,960 (日本円: 168万円)	教科書、文房具代 \$1,230 部屋代、食費 \$11,890 交通費 \$1,070 雑費 \$1,650 計 \$15,840 (日本円 178万円)	教材費 320元 部屋代 8,030元 食費 5,100元 計 13,450元 (日本円 22万円)	部屋代、公共料金、交通費、食費等 £9,576 (日本円 140万円)	想定される生活費 (留学ビザの発給条件となる、自ら支払い能力を証明すべき生活費の額) A\$19,830 (日本円 171万円)	(その他学費) 修学費、課外活動費、通学費等 (生活費) 食費 324,000円 住居・光熱水量費 480,000円 娯楽・嗜好費 72,000円 その他日常費 108,000円 計 1,176,000円
総額	\$36,136 (日本円 434万円)	\$44,750 (日本円 538万円)	40,450元 (日本円 77万円)	£18,576 (日本円 343万円)	A\$42,610 (日本円 397万円)	2,047,000円
(参考) 為替レート	1 \$=112,211円	1 \$=112,211円	1元=16,519円	1 £=146,053円	1 A\$=86,177円	—

(出典)

米国: 日米教育委員会ホームページ(出典: Trends in College Pricing 2016, College Board) (1学年間(9カ月)の平均留学経費(2016-17))

中国: 中国教育部ホームページ

英国: [授業料]SFE A guide to financial support for new FT students in higher education 2012/13、[生活費]International Student Calculator (留学費用計算ツール)の事例より平均を算出

豪州: オーストラリア大使館ホームページ(授業料は教育費の学生番号A\$15,000~A\$33,000の平均値より算出)

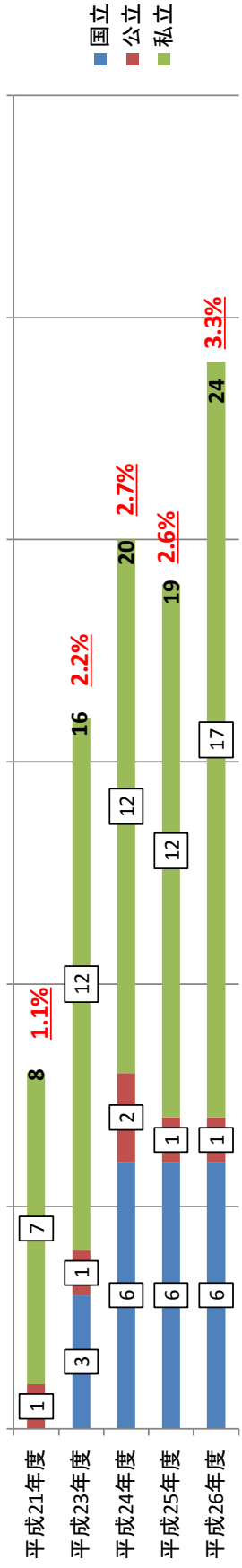
日本: 平成27年度私費外国人留学生生活実態調査(独立行政法人日本学生支援機構)

為替レート: 平成29年7月1日Open値

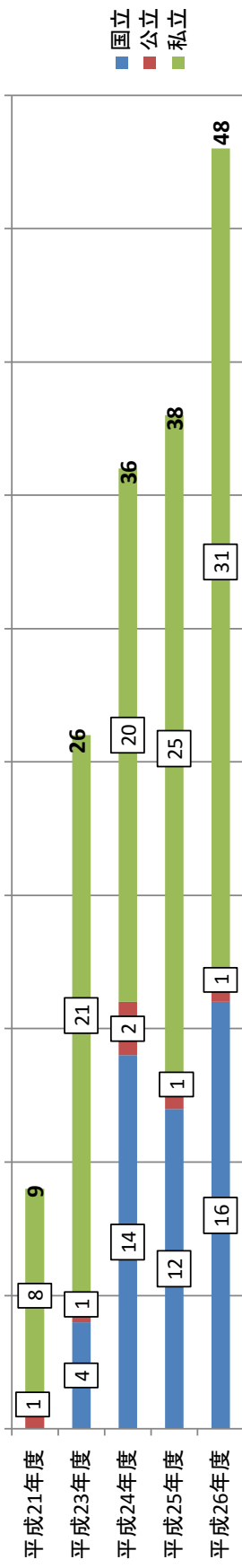
# 外国語教育の実施状況①

## 「英語による授業」のみで卒業（修了）できる（学科等がある）学部（研究科）①

【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる大学数



【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる学部数



○【学部段階】「英語による授業」のみで卒業できる（学科等がある）学部（24大学48学部）

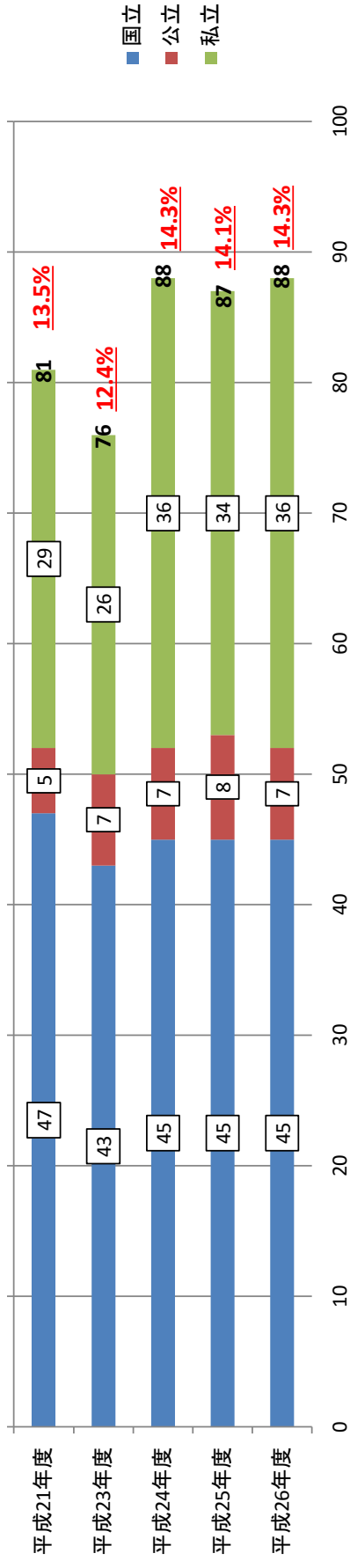
- ・東北大学 工学部、理学部、農学部
- ・京都大学 工学部
- ・筑波大学 生命環境学群
- ・東京大学 教養学部
- ・名古屋大学 文学部、法学部、経済学部、理学部、工学部、農学部
- ・大阪大学 人間科学部、理学部、工学部、基礎工学部
- ・国際教養大学 国際教養学部
- ・東京基督教大学 神学部
- ・慶應義塾大学 総合政策学部、環境情報学部
- ・上智大学 国際教養学部、理工学部
- ・法政大学 グローバル教養学部
- ・明治学院大学 国際学部
- ・早稲田大学 国際教養学部、基幹理工学部、先進理工学部、創造理工学部、政治経済学部、社会科学部
- ・拓殖大学 国際学部
- ・創価大学 経済学部、国際教養学部
- ・立教大学 異文化コミュニケーション学部
- ・昭和音楽大学 音楽学部
- ・名古屋商科大学 国際経営学部、経営学部、経済学部、商学部
- ・立命館大学 国際関係学部、政策科学部
- ・関西学院大学 国際学部
- ・立命館アジア太平洋大学 アジア太平洋学部、国際経営学部
- ・東京国際大学 経済学部、国際関係学部
- ・城西国際大学 国際人文学部
- ・沖縄国際大学 総合文化学部

（出典）文部科学省「平成26年度の大学における教育内容等の改革状況について」

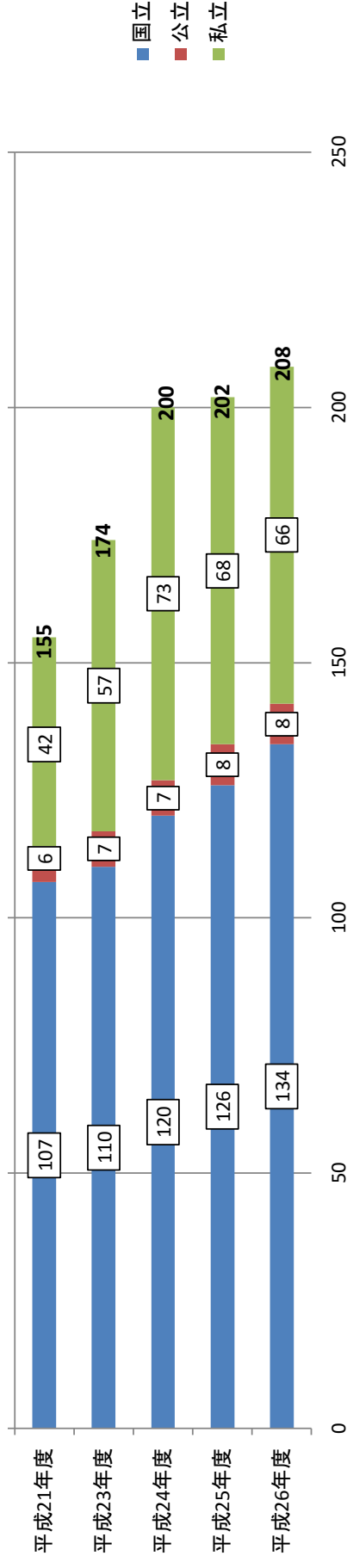
# 外国語教育の実施状況②

## 「英語による授業」のみで卒業（修了）できる（学科等がある）学部（研究科）

【研究科段階】「英語による授業」のみで卒業できる大学数



【研究科段階】「英語による授業」のみで卒業できる研究科数



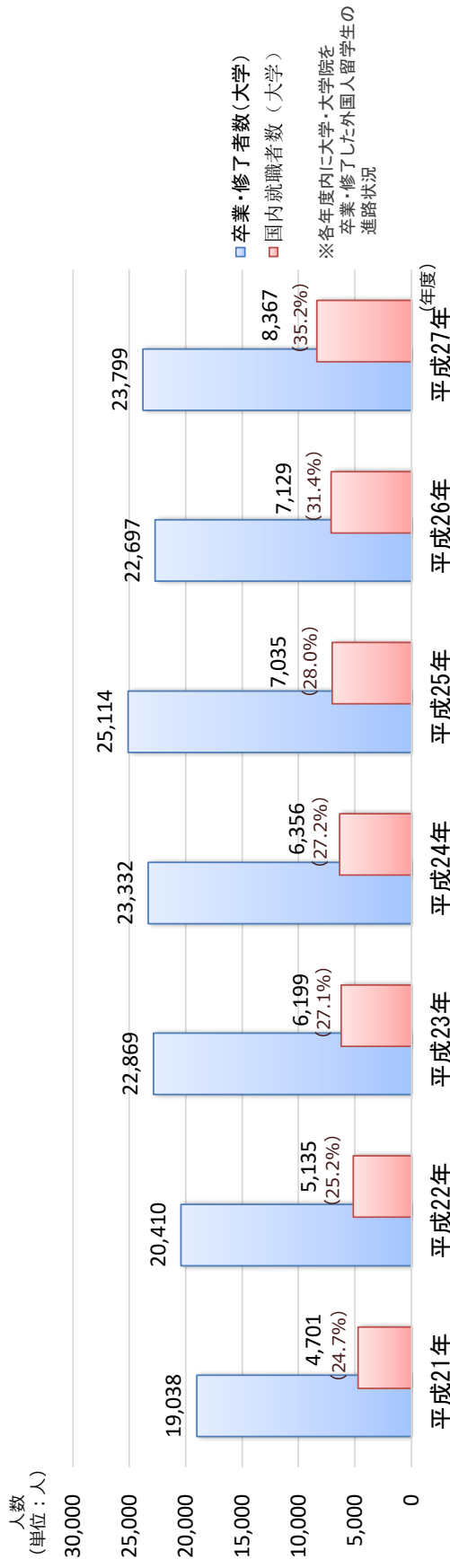
(出典) 文部科学省「大学における教育内容等の改革状況について」（平成22年度は震災の影響を考慮し、実施していない）

大学名	⑧外国語のみで卒業できるコースの数等																	
	平成28年度(H28.5.1)																	
	実績																	
外国語のみで卒業できるコースの設置数(A)	うち大学院			全学位コースの設置数(D)	うち学部(E)	うち大学院(F)	割合(A/D)	割合(B/E)	割合(C/F)	外国語のみで卒業できるコースの設置数(G)	うち学部(H)	うち大学院(I)	全学生数(J)	うち学部(K)	うち大学院(L)	割合(G/J)	割合(H/K)	割合(I/L)
	うち学部(B)	うち大学院(C)	うち学部(D)															
A01-北海道大学	41	0	41	127	31	96	32.3%	0.0%	42.7%	370	0	370	18,171	11,824	6,347	2.0%	0.0%	5.8%
A02-東北大学	26	3	23	58	13	45	44.8%	23.1%	51.1%	476	79	397	18,556	11,352	7,204	2.6%	0.7%	5.5%
A03-筑波大学	49	5	44	210	35	175	23.3%	14.3%	25.1%	580	167	413	17,498	10,128	7,370	3.3%	1.6%	5.6%
A04-東京大学	44	3	41	488	120	318	10.0%	2.5%	12.9%	994	129	865	28,253	14,159	14,094	3.5%	0.9%	6.1%
A05-東京理科大学	9	0	9	34	6	28	26.5%	0.0%	32.1%	163	0	163	3,226	1,500	1,726	5.1%	0.0%	9.4%
A06-東京工業大学	58	1	57	76	17	59	76.3%	5.9%	96.6%	4,729	14	4,715	10,063	4,833	5,230	47.0%	0.3%	90.2%
A07-名古屋大学	44	11	33	213	35	178	20.7%	31.4%	18.5%	649	198	451	16,226	10,051	6,175	4.0%	2.0%	7.3%
A08-京都大学	32	1	31	84	13	71	38.1%	7.7%	43.7%	514	81	433	23,492	13,817	9,675	2.2%	0.6%	4.5%
A09-大阪大学	17	2	15	294	90	204	5.8%	2.2%	7.4%	338	104	234	24,476	16,016	8,460	1.4%	0.6%	2.8%
A10-広島大学	57	0	57	130	53	77	43.8%	0.0%	74.0%	2,969	0	2,969	15,617	11,055	4,562	19.0%	0.0%	65.1%
A11-九州大学	64	5	59	196	31	165	32.7%	16.1%	35.8%	662	83	579	18,973	11,871	7,102	3.5%	0.7%	8.2%
A12-慶應義塾大学	12	1	11	120	41	79	10.0%	2.4%	13.9%	436	98	338	34,240	29,220	5,020	1.3%	0.3%	6.7%
A13-早稲田大学	52	19	33	154	71	83	33.8%	26.8%	39.8%	3,063	1,500	1,563	52,804	43,416	9,188	5.8%	3.5%	17.0%
B01-千葉大学	33	0	33	116	41	75	28.4%	0.0%	44.0%	774	0	774	14,591	10,802	3,789	5.3%	0.0%	20.4%
B02-東京外国語大学	2	0	2	23	6	17	8.7%	0.0%	11.8%	19	0	19	4,721	4,163	558	0.4%	0.0%	3.4%
B03-東京藝術大学	4	0	4	123	34	89	10.0%	0.0%	4.5%	30	0	30	3,447	2,058	1,389	0.9%	0.0%	2.2%
B04-東京理科大学	16	0	16	16	0	16	100.0%	0.0%	100.0%	83	0	83	2,735	1,579	1,156	3.0%	0.0%	7.2%
B05-金沢大学	37	6	31	96	49	47	38.5%	12.2%	66.0%	99	0	99	10,488	8,055	2,433	0.9%	0.0%	4.1%
B06-豊橋技術科学大学	2	0	2	5	1	4	40.0%	0.0%	50.0%	47	0	47	2,215	1,237	978	2.1%	0.0%	4.8%
B07-京都工芸繊維大学	22	0	22	53	9	44	41.5%	0.0%	50.0%	31	0	31	4,077	2,765	1,312	0.8%	0.0%	2.4%
B08-奈良先端科学技術大学院大学	6	0	6	8	0	8	75.0%	0.0%	75.0%	634	0	634	1,180	1,180	0	53.7%	0.0%	55.7%
B09-岡山大学	19	0	19	80	15	65	23.8%	0.0%	29.2%	149	0	149	13,432	10,338	3,094	1.1%	0.0%	4.8%
B10-熊本大学	41	0	41	150	44	106	27.3%	0.0%	38.7%	206	0	206	10,334	8,143	2,191	2.0%	0.0%	9.4%
B11-国際教養大学	3	1	2	4	1	3	75.0%	100.0%	66.7%	921	884	37	1,106	1,061	45	83.3%	83.3%	82.2%
B12-会津大学	2	0	2	3	1	2	66.7%	0.0%	100.0%	177	0	177	1,216	1,036	180	14.6%	0.0%	96.3%
B13-国際基督教大学	0	0	0	6	6	0	0.0%	0.0%	0.0%	0	0	0	2,976	2,813	163	0.0%	0.0%	0.0%
B14-芝浦工業大学	8	0	8	34	17	17	23.5%	0.0%	47.1%	965	0	965	8,395	7,387	1,008	11.5%	0.0%	95.7%
B15-上智大学	7	3	4	59	31	28	11.9%	9.7%	14.3%	1,386	1,154	232	14,680	13,198	1,482	9.4%	8.7%	15.7%
B16-東洋大学	110	1	109	110	48	62	6.4%	2.1%	9.7%	1,069	877	192	30,777	29,809	968	3.5%	2.9%	21.9%
B17-法政大学	3	1	2	100	39	61	3.0%	2.6%	3.3%	360	357	3	30,364	28,576	1,788	1.2%	1.2%	0.2%
B18-明治大学	6	1	5	107	40	67	5.6%	2.5%	7.5%	210	61	149	33,521	31,117	2,404	0.6%	0.2%	6.2%
B19-立教大学	5	1	4	61	28	33	8.2%	3.6%	12.1%	43	14	29	21,025	19,703	1,322	0.2%	0.1%	2.2%
B20-創価大学	6	2	4	35	10	25	17.1%	20.0%	16.0%	1,019	631	388	7,915	7,502	413	12.9%	12.4%	21.3%
B21-国際大学	16	0	16	16	0	16	100.0%	0.0%	100.0%	368	0	368	368	368	0	100.0%	0.0%	100.0%
B22-立命館大学	22	2	20	91	32	59	24.2%	6.3%	33.9%	537	309	228	36,504	33,555	2,949	1.5%	0.9%	7.7%
B23-関西学院大学	6	1	5	55	11	44	10.9%	9.1%	11.4%	107	44	63	25,079	23,942	1,137	0.4%	0.2%	5.5%
B24-立命館アジア太平洋大学	6	2	4	6	2	4	100.0%	100.0%	100.0%	5,948	5,755	193	5,948	5,755	193	100.0%	100.0%	100.0%
合計	784	72	712	3,491	1,016	2,475	22.5%	7.1%	28.8%	31,125	12,839	18,286	568,489	443,926	124,563	5.5%	2.9%	14.7%

# 外国人留学生の就職の現状

・ 外国人留学生の就職者数は近年増加しているが、留学生全体に占める割合は3割程度にとどまる。

## ○大学（学部・院）段階における外国人留学生の卒業・修了及び国内就職の推移



(出典) 「平成27年度外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」  
(平成29年4月(独)日本学生支援機構)

## ○大学（学部・院）を卒業・修了した外国人留学生の進路状況

平成27年度に大学（学部・院）を卒業・修了した者（23,799人）のうち、国内に就職した者は8,367人（約35%）。

(出典) 「平成27年度外国人留学生進路状況・学位授与状況調査結果」  
(平成29年4月(独)日本学生支援機構)

## ○外国人留学生の就職支援に関する政府の方向性

「日本再興戦略改訂2016」（平成28年6月2日）において、外国人留学生の日本国内での就職率を3割から5割へ向上させることを閣議決定。

## ○日本における就職を希望する外国人留学生の状況

日本における就職を希望する外国人留学生は全体の約64%を占める。

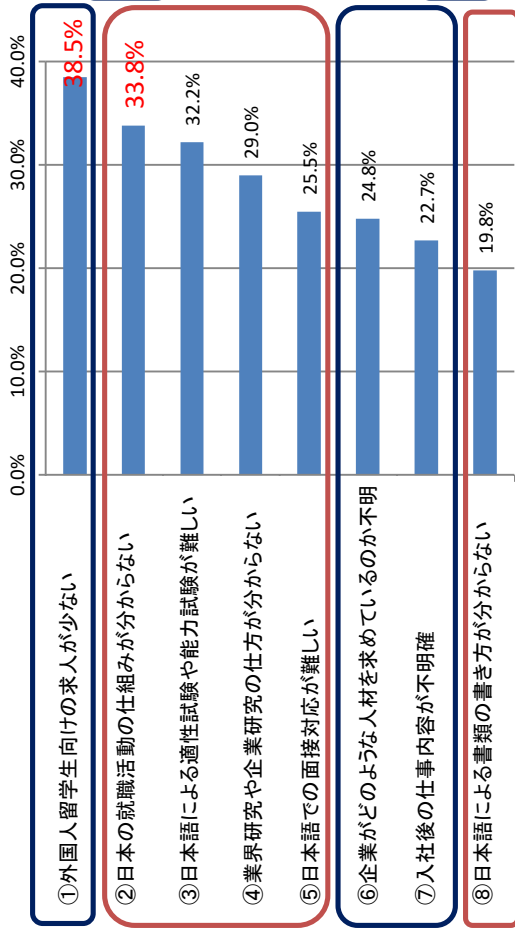
(出典) 「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」  
(平成28年9月(独)日本学生支援機構)

# 外国人留学生の就職に関する課題

外国人留学生や高度外国人材へのアンケート調査(複数回答可)によると、就職活動上の課題として、

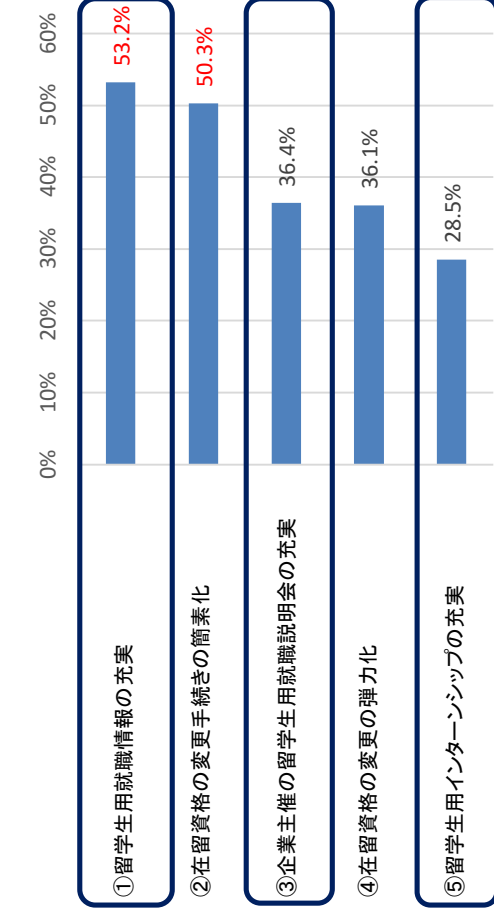
- ①日本式の就職方法指導や日本語の修得のための支援、②企業による留学生採用枠の拡大や採用枠の明示
- ③在留資格の変更手続きの簡素化等が挙げられている。

## ◆外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果



出典：「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果」  
2015年3月新日本有限責任監査法人（経済産業省委託事業）

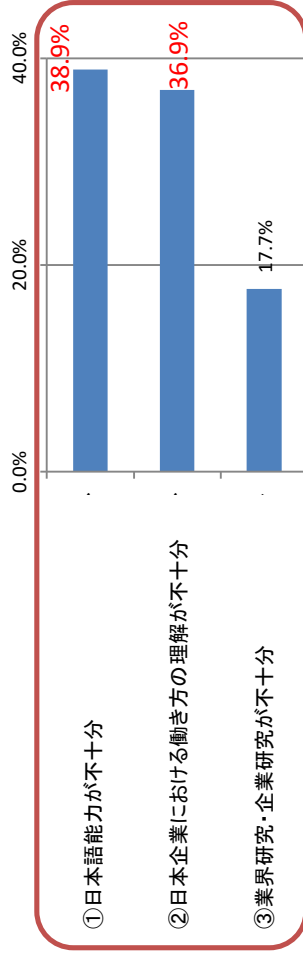
## ◆平成27年度私費外国人留学生生活実態調査



出典：「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」2016年9月(独)日本学生支援機構

一方、企業から見て、外国人留学生が就職活動で改善してほしい点は以下の通り。

## ◆外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果



出典：「外国人留学生の就職及び定着状況に関する調査結果」  
2015年3月新日本有限責任監査法人（経済産業省委託事業）

企業側で努力が必要な事項

大学も協力ができる事項



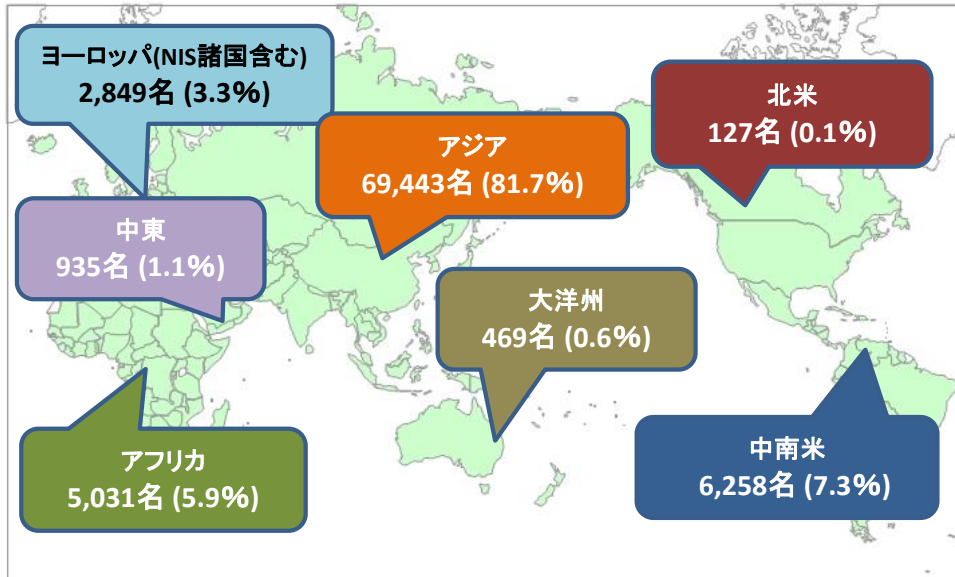
## 各地域の帰国留学生会数及び会員数

(JICA, AOTS同窓会等を除外した数)

総数 85,112名、101か国、243組織

平成28年8月現在

人物交流室



### アジア 18か国・141組織

国・地域名	会員数
フィリピン(9)	16,725
中国(46)	12,351
マレーシア(7)	9,250
韓国(29)	7,925
タイ(15)	7,675
インドネシア(17)	6,501
ベトナム(3)	2,023
ミャンマー(1)	1,731
モンゴル(2)	1,510
バングラデシュ(2)	900
インド(3)	889
カンボジア(2)	530
シンガポール(1)	430
ラオス(1)	350
ネパール(2)	289
スリランカ(1)	217
パキスタン(2)	107
ブルネイ(1)	40

アセアン合計 45,255  
総数に占める割合 約53%

### 中南米 17か国・24組織

国・地域名	会員数
ブラジル(8)	3,153
エルサルバドル(1)	745
アルゼンチン(1)	670
メキシコ(1)	448
ペルー(1)	435
ホンジュラス(1)	172
コロンビア(1)	169
ハイチ(1)	94
ドミニカ(共)(1)	80
パラグアイ	80

### ヨーロッパ 26か国・29組織

国・地域名	会員数
ドイツ(2)	426
ハンガリー(1)	400
アイスランド(1)	200
ウクライナ(1)	194
イタリア(1)	188
フランス(1)	169
英国(1)	130
ブルガリア(2)	127
スロベニア(1)	112
スイス(1)	112

### アフリカ 23か国・25組織

国・地域名	会員数
ケニア(2)	2,977
ブルキナファソ(1)	900
マダガスカル(2)	362

### 北米 2か国・5組織

国・地域名	会員数
カナダ(4)	103
アメリカ(1)	24

### 中近東 7か国・8組織

国・地域名	会員数
イラン(2)	332
トルコ(1)	300
アフガニスタン(1)	200

### 大洋州 8か国・11組織

国・地域名	会員数
ニュージーランド(3)	162
フィジー(1)	74
オーストラリア(2)	54

※中南米、ヨーロッパは会員数上位10カ国、アフリカ、中近東、大洋州は上位3カ国のみ掲載。